

環境問題への関心を育み、どう未来の担い手を育てるか —区内小学校で20年続くイベント事例から、若い世代との連携可能性を探る—

地球温暖化や森林破壊など、環境問題に対する社会の関心が高まっています。小学校では総合的な学習の時間や社会科などでSDGsについて学ぶ機会があり、調査※によればSDGsの認知率は10代で80%にのぼります。こうした若い世代の関心を、地域でのアクションに結びつけていくために、私たち大人には何ができるでしょうか。今回のゲスト、中央区環境保全ネットワークは、よりよい地球環境を次世代に残すことをめざし「子どもとためす環境まつり」を開催しています。会場の区立小学校には、20以上の企業や団体が、クイズや実験、工作などの体験ブースを出展。小学生がブースを取材・発表する「サーモンプロジェクト」では、地域の担い手育成にも取り組んでいます。そこで今回は、このまつりを通じて若い世代が地域で一步を踏み出すきっかけをどのように作ることができるか、参加者間で考えます。企業、団体はもちろん、活動を始めたい方、ボランティアなどに参加してみたい方も歓迎です。



※生活者のサステナブル購買行動調査
2025（博報堂）：
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/118511/>

【日 時】7/16（木）19:00～21:00

【場 所】協働ステーション中央

【ゲスト】岸本 裕子 さん

中央区環境保全ネットワーク 代表



2008年に当団体に参画。一級建築士。中央区の区民・企業・行政が連携・協働し、“次世代へ環境のリレーをつなぐ”ことをめざし、毎年区内の小学校を会場に、子どもも大人も楽しめる体験型環境学習イベント「子どもとためす環境まつり」を2004年から開催している。資源循環型社会の取り組み『3R』にならない、「楽しく、ためになる、助け合い」の『3T』をモットーに活動している。<https://ckhnet.web.fc2.com/>

【参加費】無料

【定 員】20名（事前申込制、定員になり次第締切）

【申込み】下記①～③から ②③で申し込む場合は、氏名・ご所属・電話番号・E-mail・参加動機をご記入ください。

① 申込みフォーム：<https://forms.gle/NDz6KZZUxqcBkN3d7>

② 電 話：03-3666-4761 ③ メール：info@kyodo-station.jp

▼お申込み



【主催・問合せ】協働ステーション中央

中央区日本橋小伝馬町5-1十思スクエア2階

TEL：03-3666-4761 FAX：03-3666-4762

E-mail：info@kyodo-station.jp

URL：<https://kyodo-station.jp>

●東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅4番出口徒歩3分

●江戸バス北循環「小伝馬町駅」下車徒歩4分

（運営事業者：特定非営利活動法人NPOサポートセンター）

